

筑波技術大学 性的指向・性自認の多様性尊重に関する基本方針

筑波技術大学は聴覚・視覚障害者のための高等教育機関であり、障害者とその能力を十分に発揮できる社会の実現を目指して教育・研究・社会貢献活動を展開しています。また、それら全ての活動において、本学の学生及び教職員それぞれの特性や個性を尊重することを第一としています。本学は、多様性を尊重し、あらゆる場面において相互理解に基づいた活動を展開していくことを、極めて重要な方針として位置付けています。

本文書において特に取り上げる性的指向や性自認(Sexual Orientation and Gender Identity, SOGI)についても、多様性の観点から同様に尊重されるべきものであり、相互理解を促進していかなければならないものです。本学の全構成員は、SOGI に関する誤った理解に基づく差別・偏見が許されないことを強く認識し、SOGI を理由に個々人の能力発揮が妨げられないようにすることが求められます。

本学はこの理念のもと、次の5つの方針を定め、行動します。

1. 本人の意思・自己決定を尊重します。
2. 修学・就労上の妨げを取り除きます。
3. 学生・教職員等の理解を促進し、差別・偏見を取り除きます。
4. 自認する性に従って行動できるよう、学内制度を整備します。
5. 自認する性に従って行動できるよう、学内施設を整備します。

性的指向とは、どのような性別の人を好きになるか、ということです。

性自認とは、自分の性をどのように認識しているのか、ということです。

「SOGI」とは、性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字をとって組み合わせた言葉で、全ての人それぞれに持つ性のあり方を総称したものです。

2021年9月29日

国立大学法人筑波技術大学長